令和４年度　新技術農業機械化推進研修

精密農業・自動化ハイテクコースⅡ（ドローン・アシストスーツ）

令和４年１１月１日（火）

（定員：１０名）

（研修のねらい）

農村の高齢化、農家人口の減少等の課題に対する技術として、ロボット技術やICTを活用した超省力生産技術が注目されている。本コースでは、ドローンの農業分野への利用とアシストスーツについての理解を深めることを目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月　日	区分	研　修　項　目　等	主　な　内　容	場　所
11／1（火）	午前	9:45～ 開講式・オリエンテーション		水戸ほ場第１教室
		10:00～11:00 農業へのドローン利用の現状と課題（講義） （講師：農研機構 農業環境研究部門 土壌環境管理研究領域　農業環境情報グループ　上級研究員　石塚直樹）	リモートセンシング技術を利用した農業の可能性について	〃
		11:00～12:00 ドローン（マルチローター）を利用した病害虫防除について(講義) （講師：ヤマハ発動機株式会社）	無人航空機による空中散布における制度の現状と今後の動向について	〃
	午後	13:00～14:30 ドローン飛行（実演） （講師：ヤマハ発動機株式会社）	飛行実演	実習ほ場
		14:30～16:00 農作業アシストスーツの説明及び装着（実演） （講師：株式会社イノフィス）	農業現場における中腰作業や重量物運搬作業等において、腰部への負担を軽減するアシストスーツ	第１教室
		16:10～　閉講式		〃

注：１　日程の一部を変更することがあります。

２　最少実施人数：３名